

# 性教育だより

～ 2年生 ふりかえり 号～

平成 30 年 12 月 25 日

大阪市立淀川中学校

性教育委員会

12月4日と、11日に性教育をしました。今回のテーマは『性に関する情報の選び方』と『多様な性のあり方(LGBT)』でした。

## 性に関する情報

- ・手に入りやすい情報の中には、信頼できないものが隠れている場合がある。
- ・性に関する正しい情報を得るためには、その情報を発信した人が信頼できる人かどうか、自分で調べ、確かめることが大切。
- ・自分で勝手に思い込まずに、信頼できる人に相談しよう。

『性に関する情報の選び方』については、情報源によってそれぞれメリットとデメリットがあるので、「からだ」「恋愛」「性」のことで気になることがあれば、自分で思い込まずに信頼できる人に相談することが大切だと勉強しました。

『多様な性のあり方』については、LGBTとは何か、ということを経験した後、実際にLGBT当事者の井上鈴佳さん、白木理さんのお二人のお話を聞きました。LGBTは人口の7.6%に在ると言われており、自分の周りにいないのではなく、当事者の人が言っていないだけ、自分に見えていないだけだということでした。LGBTとして見ないで、一人ひとりの人間として、個性として見てほしいとお話しされていました。放課後は保健室で個別相談もしていただきました。

レズビアン  
ゲイ  
バイセクシュアル  
トランスジェンダー

## 実際にお話を聞いてみよう



井上 鈴佳 さん  
レズビアン  
大阪府出身、中学・高校の保健室の先生として働いていた。

白木 理 さん  
トランスジェンダー  
兵庫県出身。女性として生まれ、タイで性別適合手術を受ける。声も男性に変更。



## ALLY (アライ) =味方 として今日からできるサポート

- ☆ 周囲に当事者がいることを意識して、使う言葉を変えてみる。(おかま・ホモ・レズ・元男・元女などの言葉ではなく、正しい言葉を使う)
- ☆ 無意識の偏見に気づく&なくす。(彼氏・彼女→恋人・好きな人・パートナー、男らしい・女らしい→自分らしい などの言葉で表現する)
- ☆ どうしてほしいかは人によって違うので、その人がどう考えて何を望んでいるのか、じっくり本人と話す。

## カミングアウトしてもらったら?

☆ アウティング(勝手に他の人に伝えること)は絶対にしない。

.....みんなの感想を紹介します.....

- ・性別は二つじゃないんだと分かった。
- ・身近にLGBTの人なんていないし、自分には関係ないことだと思っていたけれど、多くの確率でいることが分かった。
- ・LGBTの人が自分の周りにもいることが学べたので、これから言葉づかいや、人が嫌な思いをするようなことはしないように心がけようと思った。
- ・LGBTの人がまわりにくらべて少ないだけでおかしいとか、普通じゃないって考えるのはおかしいと思った。
- ・自分はLGBTの人に偏見はないと思っていたけれど、まだまだ知らないことばかりで、もっと知ったり考えたりしようと思った。
- ・この人なら話を聞いてもらえる、受け入れてくれるだろうと思われるような人になろうと思った。
- ・家族は心配をするし、不安もあるけど、生き方は自分次第だから「自分」は「自分」として生きていくことは大切だと思った。
- ・LGBTのことで悩んでいる人にLGBTだから、と接するのではなく、今まで通りに接してくれることがうれしいことがわかった。
- ・もし自分がLGBTだと分かったらみんなに言う勇氣はいると思うけど、何も恥ずかしくないと思った。
- ・たくさんの方がLGBTについて知って、偏見や差別、いじめなどが起きなくなればいいなと思った。